

最新国際交流情報誌（恵庭市編/2008年8月1日）

1. 国際姉妹都市締結記念祝賀行事

本年2月13日にティマル市において姉妹都市の締結調印を行いました。その祝賀行事を文教大学国際交流会館を会場として、次の通り実施しました。ティマル市からはアネア市長等12名と学生3名が来恵しました。

- 27日（金） 国際特別議会
- 28日（土） 記念セレモニー
オープンパネルディスカッション
記念レセプション
- 29日（日） 記念植樹



表敬訪問で歓迎の挨拶をする中島市長



同じく訪問の挨拶をするアネア市長
昨日来恵したばかりなのに疲労感を感じられない！



議会初体験に、この堂々とした勇姿



記念セレモニーでNZマオリ「子守唄」や日本の歌を合唱する恵庭混声合唱団



「記念プレート」をかざす両市長



オープンパネルディスカッションのパネラー達。「地域レベルの人的交流と経済交流のあり方」をテーマに意見交換した。



日本の伝統楽器「琴」の音色を楽しむひと時！



アネア市長が着物を着て茶道に挑戦！
見つめるアイザックス行政長官も後で試飲した。

（「ウーン、にが！」）



両市の末永い友情と友好を誓う「友好の火」をつなぐセレモニー。最後に両市長が一緒に点灯！（まるで、結婚式？）



NZマオリ族の伝統舞踊「ハカ」の迫力ある演技！





「YOSAKOI」を踊って楽しむアネア市長



「花くら」の観客としてのアネア市長



「調べ学習」の児童を見るアネア市長の
優しいまなざし！



姉妹都市締結を記念して「いちい」
の木を植樹する両市長
(「花ロードえにわ」裏の広場)

[記念祝賀行事実施概要]

祝賀行事は、本市の一大イベント「恵庭花とくらし展」と同時に実施されましたので、大勢の市民等とのふれあいが出来ました。

① 国際特別議会（市議会主催）

両市議会の国際交流事業として企画され、テーマを北海道洞爺湖サミットの主要テーマの1つである「地球環境問題」とし、ティマル市派遣留学生及び市内小中学生代表による一般質問が行なわれ、議場は新鮮な空気に包まれました。最後に「環境メッセージ」が読み上げられ、恵庭から世界に発信されました。

② 記念セレモニー

両市長スピーチの後、締結書の朗読、駐日NZ大使メッセージ披露、記念品交換、交流の足跡をまとめたDVD放映、最後に恵庭混声合唱団が「マオリの子守唄」を熱唱、ティマル市訪問団一行より拍手喝采を受けました。その後、「地域レベルの人的交流と経済交流のあり方」をテーマとして、オープンパネルディスカッションが開催（商工会議所・NZ協会主催）され積極的な意見交換がされました。

③ 記念レセプション

優雅な琴が奏でられる中、アネア市長等に着物と茶道を体験してもらい、友好の火点灯後、(アトラクションとして)マオリ族の伝統舞踊「ハカ」披露、訪問団スピーチ、本市関係代表スピーチを経て、最後の締めにはNZ式の「蛍の光」を互いに手をつなぎながら全員で斉唱、交流の絶頂を迎えて散会しました。

④ 記念植樹

「花ロードえにわ」周辺の広場に、本市の木「いちい」の木を友好のシンボルとしてたくましく伸びて行くことを念願し、3本植樹（両市長で1本、議長とティマル市行政長官で1本、NZ協会長とティマル市ADT（CEO）で1本）。

⑤ その他歓迎会等

歓迎夕食会（商工会議所主催：6月27日）、ウェルカムランチ（市議会議員会主催：6月28日）、お別れ夕食会（NZ協会主催：7月2日）。

2. 北海道洞爺湖サミット関連

7月7日～9日まで開催されたG8拡大会合に参加していたインドネシア共和国の大統領夫人と南アフリカ共和国駐日大使ングバネ氏が来恵。

大統領夫人は、9日に「えこりん村」を散策。ングバネ大使は、10日に花の住宅街と恵み野中学校を訪問。夫人も大使も共に市長をはじめ市民や生徒と積極的にふれあいを図りました。



クリスティアニ大統領夫人は「バラ」が好き！

3. 外国人研修生

中国貴陽市から農業研修生3名が3月下旬に来日。早速集合研修を受けて、4月中旬には受入農家にて実務研修を開始しました。

研修生たちは、早く日本の文化や慣習等になれるため、市の開催する行事や事業等に積極的に参加しています。

[今までの時間外研修内容]

こどもふれあい農園参加、畜産まつり参加、米空軍音楽隊演奏会観賞、姉妹都市締結記念レセプション参加、海水浴体験



4. 国際交流会館

6月8日、鶴岡学園創立65周年記念式典が挙行政され、併せて国際交流会館のお披露目がありました。10月からは国際交流関係の市民団体等へも開放される予定となっております。会場使用等に関する詳細については、要項が整備される9月以降に、市担当までご照会ください（33-3131内線2343）。

5. その他

(1) 国際交流ボランティアの動向

6月27日～7月2日までのティマル市関連事業において通訳ボランティアが大活躍しました！（今回は5月中旬に国際交流ボランティア登録をしていただいた市民に活動の場と機会を提供しました）。

国際交流は、何と言っても両国・両市の意思の疎通が大前提。通訳は不可欠です。

(2) 国際交流関連の市長表敬訪問日及び事業等内容

6月20日 青年海外協力隊アフリカ・ウガンダ派遣（岡本義康氏）

→2年の予定で建設機械の指導に行きました。今までの恵庭市累計としては、22名の青年が世界各国に派遣されています。

6月27日 青少年国際交流派遣（受入）事業

→2001年から恵庭市青少年育成市民の会・恵庭ライオンズクラブ・恵庭ニュージーランド協会の3者でNZティマル市との間で実施（今回は交換留学生3名が来恵しました）。

7月14日 北海道文教大学（7月4日～7月31日までの予定で学生受入）

→ロシア・サハリン大学は3年前からサマースクールを当該大学で開催。今年は引率の先生と共に学生10名が来恵し、日本の文化や慣習を学習しております。

（作成者：市企画調整課国際交流担当・津川 電話33-3131内線2343）